

9 CORE & CDL TIMES

発行日：2020年10月1日

2020
5.9~

とっとり県民カレッジ連携講座

鳥取大学サイエンス・アカデミー

鳥取大学サイエンス・アカデミーは、とっとり県民カレッジや市町村、大学などの高等教育機関などが連携し、開催する講座です。この度、新型コロナウイルスの影響もありましたが、感染防止対策の徹底(入場制限の実施、会場入室時の手指消毒やマスク着用の徹底、健康観察の徹底、ほか)を行い、以下の7講座を開催致しました。

「新型コロナウイルス感染症の何が問題なのか」、「元気な地域とは?—暮らしを「守るしくみ」—」、「生活の中の心理学」の3講座は、日本海ケーブルネットワークを通じて収録していただきました。

5/9
~5/15

新型コロナウイルス感染症の何が問題なのか 医学部医学科感染制御学講座ウイルス学分野 景山 誠二

2019年末に流行が明らかになった新型コロナウイルス感染症は、健康不安と経済危機の両面で世界を大きく混乱させています。このウイルス感染症の現状について、ウイルス・伝播力・重症化の観点からお話いただきました。

6/13
~6/26

元気な地域とは?—暮らしを「守るしくみ」— 地域学部地域学科地域創造コース 准教授 村田 周祐

「農林漁」や「生活」をキーワードに日本民俗学や村落社会学の知見に触れていきます。それは「普通の人々」の日常に埋め込まれた「創造性」に接近し学ぶことでもあります。この講義を通じて、これまでとは異なる「世界の見え方」を実感させていただきました。

7/13
~7/27

生活の中の心理学 大学院医学系研究科臨床心理学専攻 教授 最上 多美子

心理学・臨床心理学には色々な面があり、私たちの生活に知らず知らずのうちに影響をあたえています。私たちの特定の行動や選択は自分で決めたようにみえても、色々な事情によって決まっていることがあります。今回はその一面についてお話いただきました。



7/11

法医学者が考える、死者から学ぶ「予防できる死」 医学部医学科社会医学講座法医学分野 教授 飯野 守男

人口最少の鳥取県ですが、亡くなる人のうち警察による調査の対象となる人は年間約900人にもなります。鳥取県唯一の法医学者が死因究明を通じて死者から学んだ「予防できる死」についてお話いただきました。



8/22

睡眠時無呼吸症候群を放置するとどうなるの? 医学部保健学科検査技術科学専攻病態検査学講座 教授 加藤 雅彦教授

睡眠については自身のライフスタイルを変えてまで取り組む課題とは認識されにくく、優先順位が低い印象があります。睡眠障害の代表格である睡眠時無呼吸のからだへの悪影響を解説しつつ、あらためて睡眠の大切さをお話いただきました。



9/12

くすりと健康 —知っておきたいくすりのリスクと、正しい使い方— 医学部附属病院薬剤部 教授 島田 美樹

病気になると病院でくすりが出されます。飲んだくすりの行方は?どうしてくすりが効くの?副作用はなぜ起こるの?なぜ同じ量のくすりを飲んででも効く人と効かない人がいるの?など、様々な疑問に判りやすくお答えいただきました。



9/26

知っておきたい受動喫煙のリスク 医学部医学科病態解析医学講座薬理学・薬物療法学分野 教授 今村 武史

今年4月1日から、受動喫煙防止を目的とする「改正健康増進法」が全面施行されました。受動喫煙とは?そのリスクは?自宅ではどうする?禁煙外来でよく何う疑問を含め、最新情報をお話いただきました。



2020
6.15~
7.21

Webによる県内企業合同説明会・交流セミナー

新型コロナウイルス感染症の影響により、企業と学生が直接対面する機会が少なくなっていました。そのため、ふるさと定住機構と連携し、どこでも合説、アドセンターパルと連携して、リモる、就活をWebアプリを用いたオンライン型の企業合同説明会として開催し、多くの学生に参加をしていただきました。また、地域に出向くことが出来ず、人と人の繋がりが希薄になっている中、オンラインを活用し、様々なジャンルの社会人との交流性セミナーを開催しました。



合同説明会	どこでも合説	リモる、就活。
実施回数	16回	4回
参加企業数	59社	32社
参加学生数	188名	315名

交流セミナー	土木編	環境編	地域づくり編	森林業編	建築編
実施回数 (参加団体数)	6回 (6団体)	3回 (3団体)	4回 (4団体)	3回 (3団体)	3回 (3団体)
参加学生数	約90名	約40名	約60名	約30名	約40名

■参加学生の声（合同説明会）

- ・自宅でもリラックスした状態で企業の説明を聞けてよかった。
- ・県外に住んでいても参加できるので今後も続けてほしい。

■参加企業の感想（合同説明会）

- ・単独で説明会を開催するより多くの学生に参加してもらえた。
- ・ZOOMを使った企業説明会は初めてでしたがいい勉強になった。

全学共通科目

とっとり暮らし早期体験学習



本授業は、本学と連携協定を締結している智頭町、日南町、大山町、南部町、琴浦町、八頭町の6町にてフィールドワークを行い、各町の特色ある取り組みについて教養を深め、地域について学ぶ動機付けをすることを目的としています。
本年度は各町の職員の方々から概要や取り組みについての講義を受けたのち、現地で学外学習を行いました。琴浦町・大山町では地域資源の活用やひとのつながりづくり、智頭町では古民家の活用、日南町では林業振興について学んでいます。訪問後はグループディスカッションにより振り返り、まとめとしてそれぞれの町で感じたこと、課題やその解決策の提案を報告しました。

2020
8.26

大谷酒造株式会社×鳥取大学

本学の研究成果から新たな日本酒が完成



8月26日、琴浦町にある大谷酒造株式会社が本学連合農学研究科の児玉基一郎教授の研究成果であるローカル酵母を用いて作られた日本酒「鷹勇「涼」」の完成報告会がありました。この鷹勇「涼」は大山のミズナラの葉から抽出された珍しい酵母「ラカンセア酵母」を用いて醸造されています。特徴は、お酒の味わいの中に感じられるほのかな酸味。ちなみにローカル酵母が日本酒に用いられたのは県内初となります。
※ 鷹勇「涼」は、大学生協でも取り扱っています。

重点プロジェクト実績（令和元年度）

学内の研究プロジェクト・授業活動・エクステンション事業に対し、毎年必要経費を配分しています。令和元年度は『山陰の地域課題研究を通じた人口希薄化社会の新たな価値発見・創造のための教育研究プログラム』など28件に4,000万円余を配分しました。**採択案件の詳細は右記QRコードをご覧ください。**



地域価値創造研究教育推進プログラム実績（令和元年度）

①地域参加型研究プロジェクト(地域性・協働性・研究性・貢献性を備えた研究プロジェクト)を毎年学内から公募・選定し、1件調査型は30万円、実践型は70万円、発展型は300万円まで必要経費を配分しています。
②地域実践型教育活動のうち地域連携授業(地域性・協働性・実践性・貢献性を備えた社会教育授業活動)を毎年学内から公募・選定し、1件50万円まで必要経費を配分しています。
③地域実践型教育活動のうちエクステンション&アウトリーチ事業(成果発信性・社会教育性を備えた公開講座等の社会教育活動)を毎年公募・選定し、1件20万円まで必要経費を配分しています。
令和元年度は『未発掘地域資源であるローカル酵母の活用による地域産業創造・地域活性化プロジェクト』など50件に2,600万円余を配分しました。**採択案件の詳細は右記QRコードをご覧ください。**



2020
4.5~

地域と大学をつなぐ、鳥取をもっと好きになるラジオ。

鳥取大学CoREラジオ

誰でも気軽に聴くことができるラジオ番組を通して、もっと地域と大学をつないでいきたい！鳥取をもっと好きになってもらいたい！そんな想いで鳥取大学CoREラジオの放送を行っています。毎回のゲストには本学の個性豊かな先生方をお招きしています。



教授
児玉基一郎

専門の植物病理学についてのお話や、地域の植物由来の酵母（ローカル酵母）を用いて商品化されたパンやビールのお話、梨農家の負担軽減から生まれた梨の葉のお茶についてお話いただきました。



准教授
清水まさ志

専門のフランス文学についてのお話や、フランス語教育を通じた学生や地域の方々との交流についてお話いただきました。

※新型コロナウイルス感染症の影響で収録ができなかったため、6月～8月は過去の放送分を再放送しました。

6/7	農機具の開発や、芝やラッキョウ収穫の機械化について	農学部	野波和好 准教授
6/14	カニ殻から抽出したキチンナノファイバーの活用について	工学部	伊福伸介 教授
6/21	鳥取市のイラストレーターやスペースプランの研究について	地域学部	筒井宏樹 准教授
6/28	認知症予防や認知症と睡眠の関係の研究について	医学部	天野宏紀 講師
7/5	ローカル酵母や梨の葉を活用した地域独自の商品開発について	連合農学研究科	児玉基一郎 教授
7/12	社会持続可能な地域づくりを目指した県内での調査活動について	工学部	長曽我部まどか 助教
7/19	音楽の歴史研究や、鳥取県の民謡の研究について	地域学部	鈴木慎一郎 准教授
7/26	骨折や運動機能の調査研究、骨折の予防法について	医学部	萩野浩 教授
8/2	きのこの研究センターの活動、様々なきのこのお話について	菌類きのこ 遺伝資源研究センター	遠藤直樹 助教
8/9	地域の方の健康を守る活動、保健師の役割や活動について	医学部	徳嶋靖子 助教
8/16	国際交流センターの活動や日本語教育について	国際交流センター	池田玲子 教授 御館久里恵 准教授
8/23	「細菌」が集団で動くメカニズムや音の研究について	工学部	中井唱 准教授
8/30	小中学生を対象とした研究や子供の発達に関わる研究について	子どもの発達 学習研究センター	儀間裕貴 講師

第1回から第40回の内容はコチラから

<https://www.core.tottori-u.ac.jp/category/journal/>

2020
10~3

鳥取大学サイエンス・アカデミー(後期分)開催のお知らせ

会場:鳥取県立図書館2階 大研修室 時間10:30~12:00

事前申し込み制

各図書館にてライブ中継による視聴や、zoomを利用してご自宅でも視聴出来ます!

開催日	タイトル	講師
10/10	鳥取の映画文化について ※	地域学部地域学科国際地域文化コース 佐々木友輔 講師
10/24	放射線の恩恵と危険性 -医療における放射線について-	医学部附属病院放射線部山下栄二郎 診療放射線技師長
11/14	いま、私たちの学ぶ権利を考える	地域学部地域学科人間形成コース 石山雄貴 講師
11/28	人間のように観察し人間を理解する画像認識技術	工学部電気情報系学科西山正志 准教授
12/12	感性を測る!木材はなぜ温かい?—そして、CO ₂ は地球温暖化の主犯か?	工学部機械物理系学科 小畑 良洋 教授
1/9	安全・安心な色をめざして~人と環境に優しい無機顔料~	工学部化学バイオ系学科 増井 敏行 教授
1/23	居場所に居るといふこと ※	教育支援・国際交流推進機構教員養成センター 大谷 直史 准教授
2/27	そのアンケートデータ、本当に使えるの?~データを味方にする方法~	工学部社会システム土木系学科 桑野 将司 教授
3/13	中東諸国における食料安全保障をめざして	乾燥地研究センター農業生産部門 藤巻 晴行 教授



申込はQRコードより
お願い致します。

特別講座～地域を学び、地域で活かす～

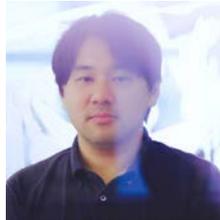
事前申し込み制

10月10日と1月23日のサイエンス・アカデミーは
とっとり県民カレッジ講座 特別講座「地域を学び、地域で活かす」と併催致します。
会場：鳥取県立図書館2階 大研修室 時間10:30～12:00

10/10 鳥取の映画文化について

鳥取大学地域学部地域学科国際地域文化コース講師
佐々木 友輔

県内には映画館が三館しかありません。しかし、この土地で映画を愛し、自らの手で上映機会を作り出す活動を続けてきた方々によって、実は非常に豊かな映画文化が根づいているのではないかと考えています。その考えから現在、ドキュメンタリー映画『映画愛の現在』三部作を制作しています。自主上映団体や監督など、鳥取の「映画人」たちと出会い学んだことについてお話しします。



1/23 居場所に居るといふこと

鳥取大学教育支援・国際交流推進機構 教員養成センター准教授
大谷 直史

ただそこに居るといふことが、どうしてそんなに苦痛になってしまったのでしょうか。まずは「居場所」や「サードプレイス」が求められる社会的背景を明らかにしましょう。そこにはある種の承認不足が関わっているはずで、どうすればただ居ることが、できれば楽しく居ることができるのか、いくつかの事例をもとに一緒に考えましょう。



事前申込制となっておりますのでお申し込みはこちらの申込フォームよりお願い致します。

CoREに新メンバー加入

准教授 清水 まさ志
地域価値創造研究教育機構
エクステンション推進室 室長



富山市生まれ。専門はフランス文学。昨年度まで宮崎大学で教えていました。鳥取のみなさんにもフランス語フランス文化の魅力を広めたいです。猫とコーヒーとチョコレートが好きです。特技はクレープを焼くことです。

准教授 三浦 政司
地域価値創造研究教育機構
地域創生教育推進室 室長

学生と地域が一緒になって問題解決に取り組むプロジェクト型の授業をやっています！よろしくお願ひします。



CDLの運営は4月からNPO法人学生人材バンクに お願いすることになりました

NPO法人学生人材バンクは「鳥取を日本一若者のチャレンジが生まれる街にしたい」という想いのもと、鳥取の学生と地域・企業のつながりをつくる団体です。現在は年間延べ500人の若者を農山村ボランティアに派遣しているほか、地元企業の長期インターンシップのコーディネート等も行っています。



CoREの活動やイベント情報盛りだくさん！ホームページ随時更新中！
<https://www.core.tottori-u.ac.jp>



Instagram
@cdltottori

CDL
(コミュニティ・デザイン・ラボ)
とは？

地域価値創造研究教育機構による様々な活動をスムーズに、活発に行っていくための拠点です。地域の住民、学生、教職員など、様々な立場の方が協働を目的に使用することができます。

平日9時30分から18時までで専用予約（貸切）がない場合は、随時自由に入室し、空いている席で打合せや雑談、休憩等をしていただけます。新型コロナウイルスの影響により4月1日から休館しておりましたが、6月25日から再開致しました。

CDL コミュニティ・デザイン・ラボ

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地
(鳥取大学正門入ってすぐの広報センター内)
TEL：0857 - 31 - 5870
Mail：chi-cdl@ml.adm.tottori-u.ac.jp